

風薫る五月に心と体を育てる取組

青々とした緑に囲まれる5月となりました。活動的に取り組むには、とてもいい季節です。

令和8年度も1ヶ月が過ぎ、本校の教育活動が本格的に始まっています。中学年では、経営方針でもお伝えした子供たち同士の関わりを大切にしたい遠足を実施いたします。3・4年生の中学年の時代は、自我に目覚め、相手との関係性を高めていこうとします。言葉の響きは、よく聞こえないかもしれませんが、「群れ」を大切にしたい傾向にあります。

小学校では、その関係性を高められる時代として、縦割りであるとか、同年代の繋がりを意図的に計画的に設定しています。その一つが中学年での遠足と言えます。

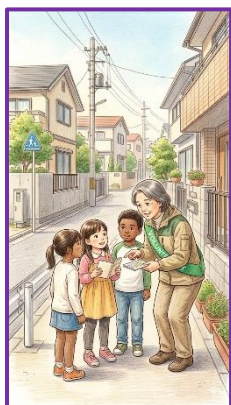


また、1・2年生の低学年においては、学校生活に慣れることや小学生として生活することを大切にします。正に生活科は、その学びを支える教科です。遊ぶことも学びであり、季節に気付くことや生き物や植物と関わることも学びとなります。

例えば1・2年生と一緒に学校探検や遠足をすることで、1年生は、学校や小学生ということをよく知ることになり、小学校生活に慣れることにつながります。2年生においては、学校を知っている上学年として、1年生のことを考えて関わることで、相手意識をもつ、3年生という中学年の「群れ」の準備をすることにもつながります。

この爽やかな五月の季節は、学校生活にも慣れ、心も体も活動的になる季節ですので、各学年が、それぞれの活動を積極的に行う上で、適しているシーズンです。

六小サポーターへの登録と支援



昨年度から、コミュニティ・スクールとなり、六小サポーター（六サポ）の皆様を中核に、地域学校協働活動が行われています。六サポをはじめとして、学校における教育活動を支えていただいている保護者の皆様や地域の皆様には、改めて感謝を申し上げます。ありがとうございます。

今年度においても、1年生の交通安全教室や3年生の校外学習など、様々な教育活動が始まっており、早速、保護者の皆様や地域の方々にボランティアで支援いただいております。六小サポーターにおいては、登録制で今年度も行ってまいります。これまでの状況的には登録制から、本校児童の保護者の皆様、育成会等の地域の協力団体等、全ての方々に六小サポーターとなっていただけるように、来年度に向けて取組を考えていこうと思っています。発展的に登録制を改善し、すぐーる配信の内容をご覧いただき、ご協力いただける活動にお返事いただく形へと転換していきたいと思っています。この1年間をかけてご理解をいただき、準備をして、令和9年度の来年度からは、六小サポーターへの手続きがなくても、ご協力いただく体制を模索してまいります。今年度の令和8年度においては、登録制は変わりませないので、多くの皆様のご登録をお願いいたします。

3年目のスタートカリキュラム

本校では、1年生の入学式の当日から2週間程度の間は、子供たちの住んでいる地域に従って、4つのグループ編成で学校生活を始めます。そして、その後は、4つのグループの子供たちの状況を教職員でよく確認し、相談して、2学級に編成にします。2学級編成のまま、また、2週間程度、学校生活を行い、最終的には、4月下旬、または5月上旬に、最終的な学級編成を行い、1年1組と2組の2学級に編成し、学級を確定します。

学校にいる時間も、2時間から3時間へ、4時間から給食ありのところまで、少しずつ段階的に増やしていくようにしています。

この取組の大切なところは、

- 少ない人数で、保育園や幼稚園で学んだことを活かせるようにしていること。
- 子供同士の関わり合いが多くできる場を設定すること。
- 学年全体の友達を知るようにすること。
- 自分の住んでいる地域にいる友達を知ること。
- 保護者の皆様にも、地域に住んでいる同学年の友達のことや様子を知っていただくこと。

これ以外にも、様々に大切にしているところはありますが、子供たちや保護者の皆様には、以上のようところがこの取組の効果的なところと言えます。

入学したての1年生が保育園や幼稚園からスムーズに小学校生活に移行できるように、これまでに着けてきた力を活かすようにしたり、少しずつ小学校生活に近付けることで、安心できるようにしたりしています。

小学校への入学は、子供たちにとっても、保護者の皆様にとっても、大きな生活の変化となる場所ですので、安心した小学校生活への入り口となるように工夫した取組となっています。毎年、取組の見直しを図りながら、よりよいスタートカリキュラムになるよう、これからも努力してまいります。

【校長のつぶやき】

今年度、第1号の校長室便り「六小・富士便り」を配信いたします。

学校便り等では、お伝えできないことや少し違った視点で私が考えていること等、六小や学校教育のことをより知っていただければと思っています。昨年度から、配信していますので、関心をもたれた方で、他のものも見てみたいと思われた方は、ホームページに昨年度のお便りがありますので、ご覧になってください。

また、この「校長のつぶやき」のところでは、私個人のことをよく知っていただければという思いもあり、学校に関係のないこともお伝えすることもあります。少しでも、興味や関心をもって読んでいただけるように今年度も頑張りますので、よろしく願いいたします。

校長という職と言葉の響きから、子供たちには「校長先生って、学校で一番偉いんでしょ。」とよく聞かれます。その時に、私が返す言葉は「校長先生はね、学校で一番働かなくちゃならないんだよ。」って答えるようにしています。頑張ったり、働いたりすることが偉いことだと思うところがあって、存在だけで偉い訳ではないと思っています。誰よりも働くこと、頑張ること、そして、その取組を楽しむこと、周りから、ただ、大変だと思われることよりも、縁の下の力持ち的な存在として見てもらえるようになりたいと思います。今年度も校長室便りをよろしく願いします。